

3.6 河川環境の整備と保全に関する目標

河川空間の利用に関しては、流域における多様で豊かな自然環境や風土・歴史・文化を踏まえ、魅力的で活力あふれる大淀川とするために、誰もが安心して河川環境から自然動態を学ぶ環境学習の場、レクリエーションの場、やすらぎや交流の場などの豊かな自然環境と調和した空間として活用・保全を目指します。

河川環境の整備と保全に関しては、洪水などによる災害発生の防止又は軽減及び流水の正常な機能の維持に関する目標を踏まえ、瀬・淵の保全、河道内の樹木の適正な管理を行い、大淀川における動植物の多様性の確保、景観、流水の清潔の保持など河川環境の保全を目指します。

河道内の植生、瀬・淵などは、多種多様な動植物の生息・生育の場となり、それ自体が豊かな生態系や景観を形成していることから、地域住民と連携しながら河道全体の整備と保全を目指します。

市街部においては、周辺の都市景観、河川公園、植生、水辺等の良好な特性を生かした河川景観の形成を目指します。

さらに、大淀川における山から海までの連続性に配慮して、水量・水質、地域のつながりなどの視点から、川と人との交流と共生、住民参加による川づくりを目指します。